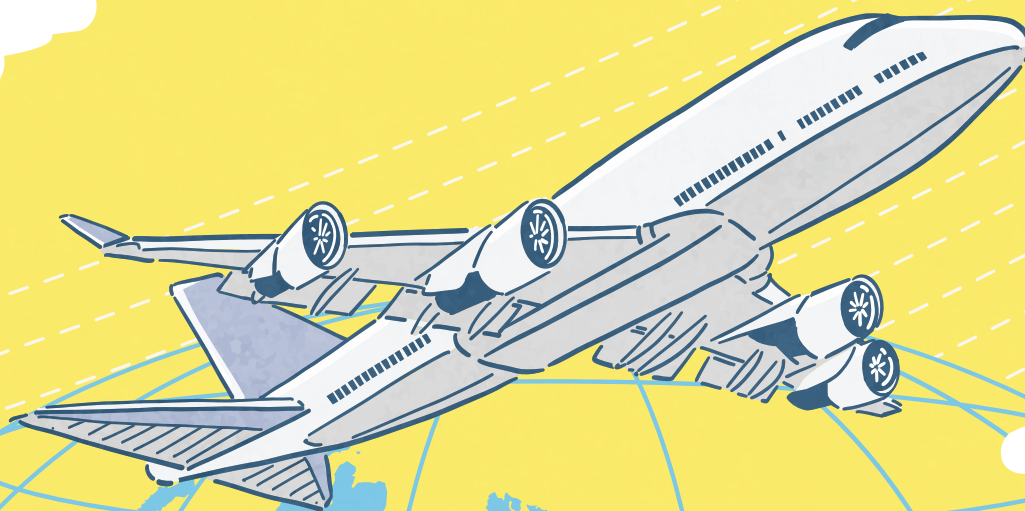


北海道教育大学

海外留学 ハンドブック

Hokkaido University of Education
Guide to Study Abroad



このハンドブックを 手に取ったあなたへ。



これからご紹介する『交換留学』や『海外短期研修』は、「北海道教育大学に在籍しながら、海外の大学でも学びたい!」と思った人が、自ら行き先を選んで、応募して、参加する制度です。

北海道教育大学の学生であれば、専攻分野や所属キャンパスには関係なく、だれでも、どのプログラムでも、参加することができます。

大学時代に海外の大学で学ぶ機会を得ることは、とても貴重な経験です。北海道教育大学には世界中に数多くの協定校があり、皆さんの様々な学びのニーズに応えることができます。

でも、『交換留学』・『海外短期研修』・『海外長期語学研修』・『海外教育体験』、どれも必修科目ではありません。みんなと一緒にいくとも限りません。留学したい人は自ら行動を起こす必要があるのです。「どこに留学したい?」「いつ留学したい?」「留学中、何を勉強したい?」これらのことを全部、あなた自身が考えて、決めて、進んでいかなければなりません。

留学するまでの道のりは、平坦ではないかもしれません。また留学先での勉強も、日本では経験できない苦しさでしょう(多くの留学経験者がそう言います)。ですが、それを達成した充実感、何ものにも代えがたい思い出となるでしょう。北海道教育大学はあなたの留学への挑戦を全力でサポートします。

このハンドブックを開いたあなたは、留学への扉の前に立っています。

さあ、ページをめくって、留学準備の第一歩を踏み出しましょう。

国際交流・協力センター

Contents

このハンドブックを手に取ったあなたへ.....	1	語学試験について.....	9
様々な留学方法.....	2	経費について.....	10
交換留学.....	3	交換留学体験記.....	11
交換留学の手続きフローチャート／交換留学選考スケジュール／ 入学から卒業までの交換留学スケジュール事例		海外教育体験記.....	21
学生交流協定を結んでいる協定校.....	5	留学を経て社会で活躍している 卒業生からのメッセージ.....	24
海外短期研修／海外長期語学研修.....	7	海外留学Q & A／留学に関する相談.....	26
海外教育体験／学内でできる国際交流.....	8		

様々な留学方法

一口に留学といっても、様々な留学方法があります。
それぞれ留学先(国・大学)や時期、応募資格などが異なります。
留学目的を明確にし、自分に合った留学方法を見つけましょう！



留学目的を 明確にする

留学先で何を勉強する？

「英語がペラペラになること」→語学の上達だけが目的ですか？

その言語を使って何が学びたいか、何ができるか？考えてみましょう。

例えば…

- 自分の固定概念が覆されるような経験を積んで、様々な子どもたちに対応できる教員になりたい！
- 母国語が違う人と同じ言語を共有する経験をし、将来は海外で活躍する日本語教員になりたい！
- 歴史的に有名な作曲家を輩出してきた国で現地の人々と触れ合い、文化を体験することで、作品への理解を深めたい！
- 様々な文化の人との交流を通じて、リーダーシップやコミュニケーション力を身に付け、将来は国際協力の分野で活躍したい！

などなど

自分に合った留学を選ぼう！

●大学が提供している留学

交換留学	海外短期研修	海外長期語学研修	海外教育体験
特 徴			
本学に在学したまま 1学期～1年間 交換留学生として 学生交流協定校に留学	長期休暇中に 協定校等で2～5週間の プログラムに参加	本学に在学したまま、 10週間～17週間 海外の大学に附属する 語学学校に語学留学	長期休暇中に協定校等で 10日間～5週間程度の プログラムに参加
単 位 認 定			
留学先大学で修得した 単位を申請に基づき 30単位まで単位認定可 (履修内容によって認定 される単位数は異なる)	「海外短期研修 (研修先の言語)」(2単位) として単位認定可	「海外長期研修(英語)」 (4単位)として 単位認定可	「海外教育体験(派遣先名)」 (2単位)として 成績評価を受ける
授 業 料			
留学先大学の授業料免除 (本学へは納入)	自己負担	自己負担	派遣先の授業料免除
奨 学 金			
JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣)奨学金 【返還義務なし】へ応募可*1	なし	JASSO 第二種奨学金 (短期留学) 【返還義務あり】へ応募可 (3か月以上の留学が対象)	JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣)奨学金 【返還義務なし】へ応募可*1 (一部プログラムのみ)

*1 JASSO から本学へ給付枠が割り当てられた場合に限る。

*2 休学期間は、在学期間に算入しない。

●その他の留学

私費留学
特 徴
本学に在学したまま、 または休学*2して個人的に留学
単 位 認 定
留学先大学で修得した単位を申請 に基づき30単位まで単位認定可 (履修内容によって認定される 単位数は異なる)
授 業 料
本学に在学したままの場合： 本学及び留学先大学へ 授業料納入 休学の場合： 本学の授業料不徴収 (留学先大学へは授業料納入)
奨 学 金
なし(民間奨学金へ各自で応募可)

交換留学

交換留学とは??

在学したまま、本学と学生交流協定を締結している大学へ留学し、1学期～1年間、協定校で科目を履修したり、研究指導を受けたりすることができる制度です。どのキャンパスの学生(学部・大学院)でも、本学の協定校に留学できます。

交換留学の手続きフローチャート

交換留学したい!

Start!

北教大での予定を考える

大学卒業までの予定表を作ってみましょう!

- 教員免許状は取得する? いくつ取得する? 副免は?
- 教育実習はいつ、どのくらいの期間行く必要がある? (主免は5週間・副免は2週間)
- 教育実習に行く前に履修しなければならない授業はある? いつ履修する?
- 教員採用試験はいつ受験する?
- 就職活動はいつスタートする?
- 履修学年・時期に指定のある科目は?
- いつ卒業する?

学生指導教員ともよく相談しましょう!

応募資格を確認する

- その協定校に留学するための条件は?
- 留学開始時期は? (協定校により異なります)
- そのための学内申請はいつ? (11月15日または6月15日。留学開始時期により異なります)

留学先を決める

- 自分がしたい勉強は、どの協定校で可能?
- P.5～6の「学生交流協定を結んでいる協定校」や国際交流・協力センターのHPで確認しましょう。

交換留学説明会に参加する

- 各キャンパスにて年に1～2回開催しています。(時期はキャンパスによって異なります)

交換留学の特徴

- ☆ 留学期間中、本学での授業料は徴収されますが、留学先大学での授業料はかかりません。
- ☆ 留学先大学で修得した単位を、帰国後の手続き・審査を経て、30単位まで本学の単位として認定する制度があります(ただし、授業の内容などによって認められない場合もあります)。

留学に必要な勉強を

- 学内申請の条件として、TOEFL iBTやIELTS等の語学基準が設定されていることがほとんどです。
- 1回の受験で目標点を取れるとは限りません。前もって受験しましょう。

学内選考に応募

- 学内で、応募書類(成績・志望動機・語学力)及び面接による審査があります。

学内選考を通過

1学期～1年間 留学!

渡航準備

- パスポート・ビザ取得、航空券購入、留学保険加入などの準備をします。
- 書類によっては取得に時間がかかるものもあります。(ビザ等) 留学決定後は計画的に準備をすすめましょう。

帰国後

- 帰国報告書・留学アンケートを提出します。
- 単位認定の手続きを行います。(希望者)
- 留学報告会で留学体験の報告を行います。

協定校に応募

- 学内選考を通過したら、留学先大学への出願書類を準備しましょう。

受入決定

留学先大学から受入許可の通知が来たら、あなたの留学が正式に決定します!

交換留学選考スケジュール

申請書類の提出締切は年に2回(11月15日と6月15日)あります。留学開始時期が1期(翌年の4月～7月)・2期(翌年の8月～11月)の大学は11月15日、3期(同年12月、翌年の1～3月)の大学は6月15日が提出締切となります。
※一部の協定校で例外があります。

	1期・2期	3期
学内申請書類提出締切	11月15日	6月15日
学内選考・派遣者の決定(内定)	12月	7月
派遣留学予定者オリエンテーション(全体)	1月	8月
留学先大学への申請手続き	1月～	9月～
派遣前オリエンテーション(各校)	各校で設定	各校で設定

● 入学から卒業までの交換留学スケジュール事例(令和5年度以降入学者向け)

	1年生		2年生		3年生		4年生		4年生(5年目)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Aさん(教員志望) (アメリカ半年)	入学	学内申請	学校教育の実践と省察I	学校教育の実践と省察II	留学	学校教育の実践と省察II	教育実習	教員採用試験・卒業	卒業	
Bさん(教員志望) (イギリス3か月)	入学	学校教育の実践と省察I	学校教育の実践と省察II	学内申請	教育実習	留学	教員採用試験・卒業	卒業		
Cさん(教員志望) (オーストラリア1年)	入学	学校教育の実践と省察I	学校教育の実践と省察II	学内申請	留学	教育実習	教員採用試験・卒業	卒業		
Dさん(教員志望) (台湾1年)	入学	学校教育の実践と省察I	学校教育の実践と省察II	学内申請	教育実習	留学	教員採用試験・卒業	卒業		
Eさん(一般就職希望) (オーストラリア1年)	入学	学内申請	留学	就職活動・卒業	卒業					
Fさん(一般就職希望) (中国1年)	入学	学内申請	留学	就職活動・卒業	卒業					
Gさん(一般就職希望) (ノルウェー1年)	入学	学内申請	留学	就職活動・卒業	卒業					

※所属専攻等により、可能となるスケジュールは異なります。詳しくは、各校教育支援グループ(札幌校は国際課、教育企画課)に相談してください。

学生交流協定を結んでいる協定校 (令和5年3月現在)

※過去5年に派遣実績がある協定校を掲載。

13の国・地域25校

各協定校の応募条件、派遣時期等の詳細情報は、国際交流・協力センターのHPを参照。
https://www.hokkyodai.ac.jp/international/center/exchange/partner_universities.html
 随時更新していますので確認してください。



海外短期研修



夏休みや春休みを利用して参加することができる、2～5週間の短期プログラムを実施しています。短期間で集中的に語学力を磨くだけでなく、現地での生活を体験することで、異文化を理解する心を育み、国際的視野を広げることを目的としています。長期での留学が難しい方はもちろん、将来的に長期留学をしてみたい方にとっても、自分の異文化適応力や語学力を試すために海外短期研修に参加してみることをおすすめします。

海外短期研修の特徴

- ☆内容はプログラムごとに異なりますが、語学研修、異文化体験などが中心です。
- ☆語学基準はありません。特に1・2年生におすすめです。
- ☆「海外短期研修(研修先の言語)」(2単位)として単位認定申請できます。(詳しくは学生便覧などで確認してください)。

留学先大学 (令和5年3月現在)

※留学先と期間は変更になる場合があります。

アメリカ

ワシントン大学短期プログラム

英語及びアメリカの文化と生活について学びます。その他にも、異文化間の話題について議論したり、グループでプレゼンテーションを行ったり、アメリカの文化とシアトルの美しい景観を探索するといったアクティビティもあります。

期間 8月中旬～9月上旬(3週間)

韓国

漢城大学校サマープログラム

韓国語及び韓国文化(歴史、社会・文化、言語、文学、テコンドー、音楽、料理、民族衣装、舞踊など)を学びます。また、フィールドトリップや、漢城大学校学生との交流もあります。

期間 8月中旬～8月下旬(2週間)

中国

瀋陽師範大学短期プログラム

中国語及び中国の文化(太極拳、卓球、京劇、書道、茶道、紙きり、手工、中国伝統楽器鑑賞など)について学びます。

期間 2月中旬～3月中旬(2週間)

オーストラリア

シドニー工科大学付属語学センター インサーチ短期英語プログラム

レベル別クラスで英語を実践的に学習します。プレイスメントテストにより、クラス別に分かれて学習するため、自分に合ったレベルで学ぶことができ、様々な国からの英語学習者との交流もできます。また、シドニー市内近郊の学校訪問や企業訪問、ホームステイを通じて、オーストラリアの多様な文化を体験します。

期間 2月中旬～3月中旬(5週間)

海外長期語学研修

海外の大学に附属する語学学校で、10～17週間集中的に英語を学ぶことにより、確かな語学力を身に付けます。学校により異なりますが、主に、海外の大学に留学するための語学力を身に付けるための準備コースとして置かれているプログラムを受講することとなります。TOEFLやIELTS対策のための授業もあります。

海外長期語学研修の特徴

- ☆休学せずに参加する場合、大学への授業料と研修先語学学校の授業料がかかります。
- ☆「海外長期研修(英語)」(4単位)として単位認定申請できます。

留学先大学 (令和5年3月現在)

- ワシントン大学
- ブロック大学

※プログラムの詳細は各大学のHPにて確認してください。

海外教育体験



海外における教育体験を通じて教育の多様性を理解するとともに、日本の教育を省察し、国際的視野を広げ、グローバル社会におけるコミュニケーション能力の重要性を理解し、日本の教育現場に貢献できる人材を育成することを目的としています。

海外教育体験の特徴

- ☆内容はプログラムごとに異なりますが、現地学校の訪問・実習が中心です。
- ☆日本での教育実習を経験した3・4年生におすすめです。
- ☆「海外教育体験(派遣先名)」(2単位)として成績評価されます。

留学先大学 (令和5年3月現在)

※留学先と期間は変更になる場合があります。

台湾

台北市立大学 教育体験プログラム

教育実習に参加し、教育について学びます。台北市立大学の附属小学校又は公立小学校での授業観察、英語による教育実習、大学の授業への参加、学生交流などを行います。

(5名まで)

期間 3月初旬～3月下旬(2週間)



ラオス

ラオス 教育体験プログラム

現地小学校での授業参観や児童との交流、教材作成、教員養成校にて現地学生との意見交換、JICA 海外協力隊の活動見学などを実施します。渡航前には事前指導として、国際交流のあり方、開発途上国の現状、ラオ語などの講義を受講します。

(10名まで)

期間 3月上旬から10日間程度



カナダ

カルガリー大学 教育体験プログラム

英語研修及びアルバータ州やカルガリーの教育・文化に関する講義、カルガリー市内の小・中学校訪問(授業観察や生徒との交流など)、学部授業観察や学生との交流、研修旅行を行います。カナダの学校教育の現状を直接体験することにより、将来国際的視野に立って、学校教育や社会教育の仕事の担い得る人材を育成することを目的としています。

(10名まで)

期間 2月中旬～3月中旬(4～5週間)



学内でできる国際交流 (キャンパスによって異なります)

留学報告会

留学を終え帰国した学生が、それぞれに経験したことについて発表します。経験者の話を聞き、直接質問できるチャンスです!ぜひ積極的に参加してください。

チューター制度

本学の学生が、海外から来た留学生のサポートをする制度です。チューター制度には、レポートや論文などの日本語の添削を行うチューターや、来日時の各種手続きのお手伝いを行うチューターなどがあります。

国際交流サークル

留学生と交流するイベントなどを企画し、交流するサークルもあります。

語学試験について (令和5年3月現在)

※最新の情報は、試験実施団体のHP等で確認してください。



英語力を証明するテスト

● TOEFL iBT (Internet-based test)

ホームページ	http://www.toefl-ibt.jp
テストの構成・スコア	インターネットを利用したテスト。 Reading(0-30)、Listening(0-30)、Speaking(0-30)、Writing(0-30)のセクションがあり、総合スコアは0-120。
所要時間	約3時間
受験料	245米ドル
結果	試験の約8日後にオンライン上でスコアの確認が可能。
身分証明	受験申込時及び当日の試験会場にて、試験当日まで有効なパスポートが必要になる。 試験当日有効期限が切れていると無効。
会場	北海道は札幌のみ。

● IELTS (Academic)

ホームページ	http://www.eiken.or.jp/ielts/
テストの構成・スコア	Listening40問、Reading40問、Writing2問、Speaking試験官と1対1のインタビュー形式のセクションがある。 Overall band scoreは1.0-9.0。
所要時間	約2時間45分
受験料	25,380円(税込)
結果	試験の13日後の13:00にオンライン上でスコアの確認が可能。
身分証明	受験申込時及び当日の試験会場にて、試験当日まで有効なパスポートが必要になる。 試験当日有効期限が切れていると無効。
会場	北海道は札幌のみ。

※イギリスへ6ヶ月を超える留学をする場合、学生ビザ(Tier4ビザ)取得のために、IELTS for UKVI Academicを受験して英語力を証明する必要があります。会場は東京と大阪のみ。(令和5年3月現在)

英語以外の語学力を証明するテスト

中国語	HSK(中国語検定)	http://www.hskj.jp
ロシア語	ロシア語能力検定試験	http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/
韓国語	ハングル能力検定試験	http://hangul.or.jp/
	韓国語能力試験(TOPIK)	http://www.kref.or.jp/examination
ドイツ語	ドイツ語検定試験	http://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html
	ドイツ語技能検定試験	http://www.dokken.or.jp/

経費について



留学に必要な経費(例)

- 渡航費（パスポート取得費、航空券代、ビザ申請費）、
留学保険代（大学で加入するもの他、留学先で加入するものもある）
- 現地交通費（空港～大学、通学費など）
- 住居費（寮またはアパート）、電気代、ガス代
- 食費、電話代、服飾費等生活費
- 教材費（教科書・文具・パソコンなど）
- 娯楽費（現地での旅行・本など）
- 本学への授業料（交換留学の場合、留学先大学の授業料は不要！） など

海外留学のための経済支援制度

㊦日本学生支援機構(JASSO)「海外留学支援制度(協定派遣)奨学金」→給付型(返還義務なし)

- 奨学金：月額6～10万円（留学地域により異なる）
- 人数：JASSOからの奨学金支給割当数による
- 対象：本学の交換留学制度による留学
- 申請方法：交換留学申込書類の所定の欄に記入

※選考があります。

※他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、
他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による
支給金額を超える場合は併給不可

※JASSOが実施する第一種奨学金、国内の第二種
奨学金及び第二種奨学金（短期留学）との併給可

㊧日本学生支援機構(JASSO)「第二種奨学金(短期留学)」→貸与型(返還義務あり)

- 貸与月額：学部生2万円～12万円の中から1万円単位の選択制／大学院生5・8・10・13・15万円の選択制
- 留学時特別増額貸与奨学金：10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の選択制
- 対象：3か月以上1年以内の、本学の交換留学制度による留学、または、
留学により取得した単位が本学の単位として認定される留学
- 申請方法：各校教育支援グループ（札幌校は学生支援課）で申請用資料を請求し、必要書類を提出

※選考があります。

㊨その他海外留学のための奨学金等

北海道教育大学海外留学奨励金をはじめ、官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～、外国政府及び国内財団等が募集する奨学金等の制度があります。詳細は、各校教育支援グループ（札幌校は国際課、学生支援課）にお問い合わせください。

また、日本学生支援機構（JASSO）のホームページに海外留学のための各種奨学金の情報が紹介されていますのでご覧ください。

▶ <http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

㊩留学による授業料減免制度

「留学」の許可を受けて留学した場合、申請により、授業料を一部免除する制度があります。

詳細は、各校教育支援グループ（札幌校は学生支援課）にお問い合わせください。